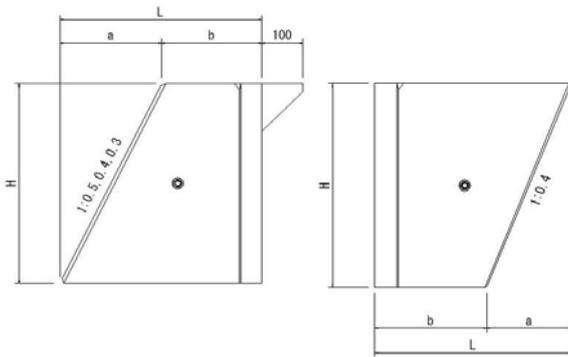


## 技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全 <input type="radio"/> 防災 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質                    （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	小口止用サイドブロック	担当部署	研究開発課
NETIS登録番号	QS-140005-A	担当者	島 佳奈子
社名等	インフラテック株式会社	電話番号	050-3085-9434
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>河川護岸やブロック積み擁壁などにおいて、両端が侵食され破壊するのを防護するために小口止工が設けられます。従来は、現場打ち工でコンパネなどの型枠を設置して形成されていましたが、養生による工程待ちや高所作業により安全性が損なわれている現状がありました。そこで、型枠の設置、撤去が不要で、ブロック積みとほぼ同時に施工でき、施工性、安全性の向上を期待し、小口止工のコンクリート二次製品を開発しました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品は、前面ブロック、背面ブロック、側壁部はGRC製の薄肉版を使用しており、型枠工などの熟練工を必要とせず、施工性、安全性を向上させた製品です。</li> <li>・型枠の設置・撤去・養生期間が不要なため、工期短縮が可能です。</li> <li>・製品重量は、100kg程度で、積みブロックを施工する重機で設置可能です。</li> </ul> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型枠の設置、撤去が不要なため、工期短縮が可能です。</li> <li>・現場打ちでの足場支保工が不要なので、ブロック積みと同時施工が可能なので、高所作業が軽減でき、安全性、施工性が向上します。</li> </ul> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>河川護岸、ブロック積み擁壁の小口止工、横帯工の形成に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用寸法: 幅300mm</li> <li>・適用勾配: 1:0.3~0.5</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関    4 件（九州    4件、九州以外 0件）                  自治体      10 件（九州    10件、九州以外 0件）                  民間        0 件（九州    0件、九州以外 0件）</p>		

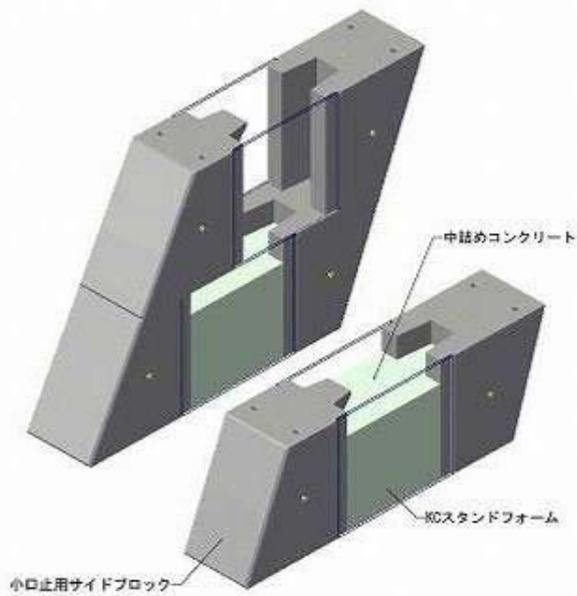
## 6. 写真・図・表



### \* 製品規格

呼称	寸法 (mm)			
	L	a	b	H
5分型	495	250	245	500
4分背面型	465	200	265	500
4分前面型	495	200	295	500
3分型	495	150	345	500

### \* 製品構造イメージ



### \* 施工手順

